

市長が行く

茂原市長

No.22

田 中 豊 彦



コンパクトシティ

全国的に、中心市街地の空洞化が大きな問題として取り上げられて久しいですが、なかなかこれといった解決策が見つからないのが現状です。茂原市でも、榎町等のシャツター通りをなんとかしなければということは、皆が思つていることでしょう。

今、社会は急速な少子高齢化が進み、人口に占める働く人の割合が低下し、私たちの経済社会に大きな負荷がかかりつけています。働く人の集まるところは、環境の整った住みやすい地域となり、それ以外のところは、どんどん取り残され、格差もひろがっています。

またモータリゼーションの普及により、郊外型の大型店舗が増加し、中心市街地において従来の商業施設は生き残つていくのが非常に厳しい現実があります。

その一方で、一人暮らしの老人が増え、その人たちが病院に行くのが大変、買い物をするのも大変になってきています。

それでも歩いていける距離ですべての生活が成り立つことです。なかでも医療の充実は切実な問題です。私は中心市街地に300床以上の核となる病院を設置し、その周辺に集合住宅を建て、商店街を復活させ、賑わいと潤いのある街が作れるものだろうかと思います。

これにより、中心市街地の人口が増加し、駅からの動線がえがかれ、商店街も活性化すると考えます。また人口が密集すれば行政コストの削減にもつながり、高齢化社会に対応した利便性の良い住環境をより追求していくことが可能となるでしょう。茂原市の中心に高齢者を中心としたコンパクトな都市が形成されるということです。

ただ実際に実現するためには、行政、資金、住民の理解と医療関係者の協力が不可欠です。今回は病院を中心にして、中心市街地の活性化の方法のひとつとして、「コンパクトシティ」について書かせていただきましたが、ほかにも活性化策はあると思います。何か良い案があつたら教えてください。